

学習内容報告書

学校名	三原市立木原小学校
授業者	原田圭輔

1. 単元計画

1-1. 単元名

海を知ろう，体験しよう

1-2. 学年

5・6年 （大崎上島校外学習については，1～6年）

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間 理科，生活科

1-4. 単元の概要

木原小学校の児童は海の近くに住んでいるが，海での体験や海の知識がほとんどない。海辺は護岸コンクリートで覆われ，児童にとって海は遊ぶところではないからである。また，水質・生物調査やアマモ栽培はしているが，海で楽しむことができることを理解していない。

そこで，いつも調査で見ている海藻を使って「海藻おしば」を作る活動を通して，海藻でアート作品を作れることを知ったり，標本を作ることで，これからの学習でも使えるものにした。

また，スナメリが生息している広島県の大崎上島に校外学習へ行き，スナメリウォッチングをして実際のスナメリを見たり，大崎上島の環境を肌で感じることで木原の海との違いを理解したりする。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

海藻を使った「海藻おしば」を作ったり，スナメリがいる大崎上島に校外学習へ行くことを通して，海の生物と親しくなったり，大崎上島と木原の海を比較したりして，海に対する興味や関心を高める。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

論理的思考力

ある事象について，その時の意図や目的に応じて比較・分類する力。また，自分とは違った見方の意見や考えをイメージする。

自信・主体性・協働

困難なことがあっても，工夫，修正等をし，最後まで粘り強くやり切り，自信を高める。また多様性や立場の違いを認め，互いのよさを生かして，課題を解決する。

1-7. 単元の展開（全15時間）

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	<p>○児童の「海」に対するイメージを整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木原の海ってどんな海？ ・海藻ってどんなもの？ <p>○学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海藻を標本にする。 ・大崎上島に校外学習に出かける。 	<p>(指導) 海についてのイメージを出させ、児童自身が海についてあまり知らないことを実感させる。</p> <p>(評価) 主体性：「海」を知ることに對しての関心を高めている。</p>
2 ～ 3	<p>○「海藻おしば」を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「海藻おしば」って何？ ・標本を作る。 ・アート作品を作る。 	<p>(指導) 標本を作る意味について指導する。…今後の学習や来年度以降の後輩が学習で使えるように。</p> <p>(外部) 瀬戸内海エコツアーリズム協議会</p> <p>(評価) 主体性・自信：海藻を使って「海藻おしば」を主体的に作っている。できた作品に対して愛着を持っている。</p>
4 ～ 9	<p>○大崎上島へ校外学習に行く。</p> <p>【全校児童参加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大崎上島ってどんなところ？ ・スナメリの標本を見る。(大崎上島町立東野小学校) ・スナメリウォッチング 	<p>(指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木原の海と同じところや違うところってどんなところか考えさせる。 ・スナメリはどんな生態をしているのか博物館で調べたり、専門家に聞いたりさせる。 <p>(外部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸内海エコツアーリズム協議会 ・大崎上島 スナメリ研究家 谷川先生 <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論理的思考力：木原の海と大崎上島の海とを比較し、共通点や相違点を見つけようとしている。 ・主体性：大崎上島の自然やスナメリについて自分から学ぼうとしている。
10 ～ 15	<p>○活動のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大崎上島と木原の海を比較する。 ・木原の海にスナメリを戻すためにできることは何か？ ・海の体験活動について壁新聞にまとめる。 	<p>(指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木原の海と大崎上島の海とを比較させ、共通点や相違点を整理させる。 ・大崎上島の自然から、木原の海にスナメリを呼び戻すためにできることは何かを考えさせる。 ・学習について壁新聞を使ってまとめさせる。 <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論理的思考力：木原の海と大崎上島の海とを比較し、共通点や相違点を見つけ、木原の海の改善策を考えている。 ・協働：学習について友達と協力して壁新聞にまとめている。

2. 学習活動の実際

2-1. 単元における位置づけ

単元 15 時間中の 10~13 時間目

2-2. 本時の目標

木原の海と大崎上島の海とを比較し、共通点や相違点を整理することを通して、木原の海にスナメリを呼び戻すためにできることは何かを考えることができる。

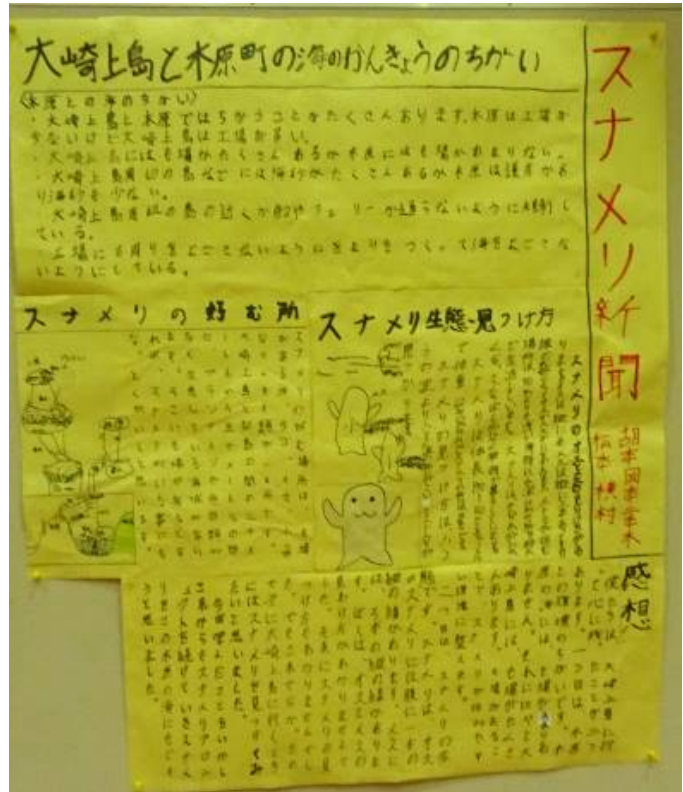
2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)
<p>1 大崎上島での校外学習を思い出し、課題をつかむ。</p> <p>【反応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おだやかな海だった。 ・スナメリの影を写真に撮ることができた。 	<p>(指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトの目的に帰らせ、スナメリが大崎上島にいて、木原にいないのはなぜか問いかける。そこから、比較する必然を持たせる。
<p>大崎上島と木原の自然の同じところと違うところはどこだろうか。</p>	
<p>2 見直しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベン図を使って共通点と相違点を整理する。 ・視点を設定して考える。(海の様子、周りの様子、自然の様子等) 	<p>(指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通点、相違点を整理する思考ツール「ベン図」を想起させ、視点を設定して考えさせる。
<p>3 ベン図をかいて、共通点・相違点を整理する。</p> <p>【反応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周りにたくさん島があった。 ・でも、波があまりなかった。 ・工場があったけど、数は少なかった。 ・浜辺がたくさん見られたし、岩場がたくさんあった。 ・船がたくさん通っていた。 ・でも、スナメリがいたところは船が通ってなかった。 	<p>(指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人思考させた後、全体で集団思考させる。 ・視点を明確にして整理させる。 ・児童から出てきた疑問について、後日専門家の谷川先生に電話で聞く。
<p>4 ベン図から考察をし、木原の海でできることについて考える。</p> <p>【反応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船があまり通らないようにできたらいいのかも。でも、漁師さんたちの仕事があるなあ。 ・浜辺がたくさんあって、アマモが生えていたから、これからもアマモを増やしていくのは大切だ。 ・スナメリが隠れられる岩場もあればいいのに。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できなさそうなことでも、木原の海でやるとしたらどんなことができるのか考えさせる。 <p>(評価)</p> <p>論理的思考力：木原の海と大崎上島の海とを比較し、共通点や相違点を見つけ、木原の海の改善策を考えている。(ベン図, ノート, 発表)</p>

3. 今回の活動の自己評価

- ◎大崎上島という比較対象ができたことで、木原の海を客観的に見る事ができた。
- ◎スナメリがいる大崎上島というモデルを児童にイメージさせることで、その環境に近づけるためにできる事は何かをリアルに考えさせる事ができた。
- ◎これまで取り組んできた「アマモ栽培」「クリーン活動」の意義を見出す事ができた。

△改善策を出させたが、すぐには実行できる方策ではなかった。これまで取り組んできた「アマモ栽培」と「クリーン活動」の2つが実際できることで、新鮮味がなかった。



4. 今後の課題

- ・海藻おしばについて、外部講師に教えていただいた。専門的な薬品を使用したり、「海藻おしば」にするまでの作業をしていただいたりと外部講師でないとできないことが多々ある。謝金（お金）の面や専門技術の必要が課題。→地域でできる人材がいればよいのだが。
- ・大崎上島への校外学習について、交通費や謝金等の費用の面が心配。→社会見学に位置付ける。
- ・大崎上島町立東野小学校でスナメリの標本を見せていただいたが、東野小学校の児童との関わりがなかった。→互いに学習の報告をする機会をつくる。
- ・児童が考えた改善策について、外部機関へ発表できる場をつくる。→単元計画の見直し、外部機関との連携。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- ・海藻を事前に採取しておく必要がある。
- ・関係機関（大崎上島町立東野小学校、大崎上島町 海と島の歴史資料館）との事前の連携が必要である。